

# 伊豆大島における地磁気連続観測\*

## Geomagnetic Observation at Izu-Ooshima volcano

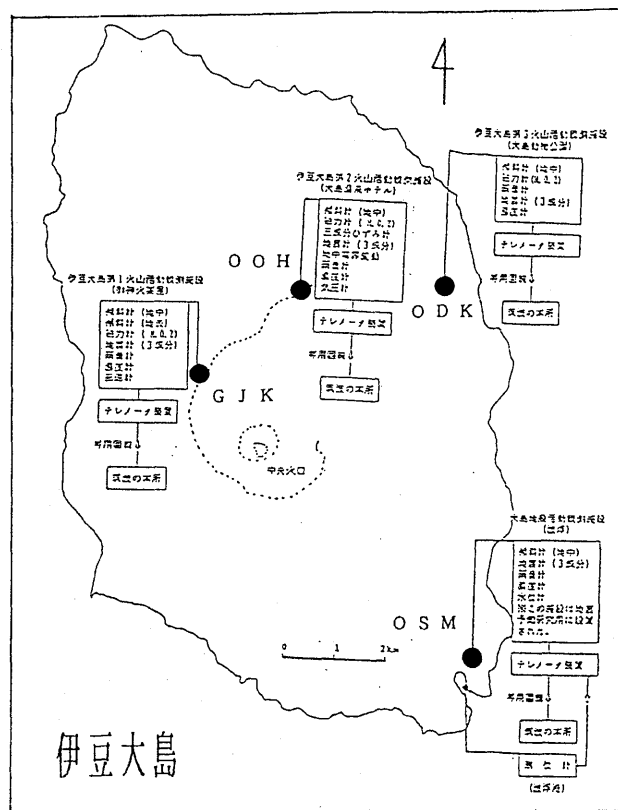
防災科学技術研究所\*\*

National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention

防災科学技術研究所では伊豆大島において1988年以降3カ所で地磁気観測を実施している（第1図のGJK, OOH, ODK）。

このうちGJK（御神火茶屋観測点）において比較的安定した連続観測記録を約10年間にわたり取得することができたので報告する。観測計器はフラックスゲート型磁力計（（株）島津製作所製MB162型）で、テレメータにより1 Hzサンプリングでデータを伝送、保存している。

第2図に3成分記録（日平均値）を示す。測定レンジ内にデータを収めるため、この期間内にオフセットの調整を4回実施している。第3図にオフセット調整の影響を補正した地磁気鉛直成分を示す。この図では広域での変動を除去するため気象庁地磁気観測所による柿岡での観測値との差を示している。柿岡との差では、原データに見られる長期的な増加は除去され、約1年周期の変動（振幅約20 nT）が顕著に見られる。

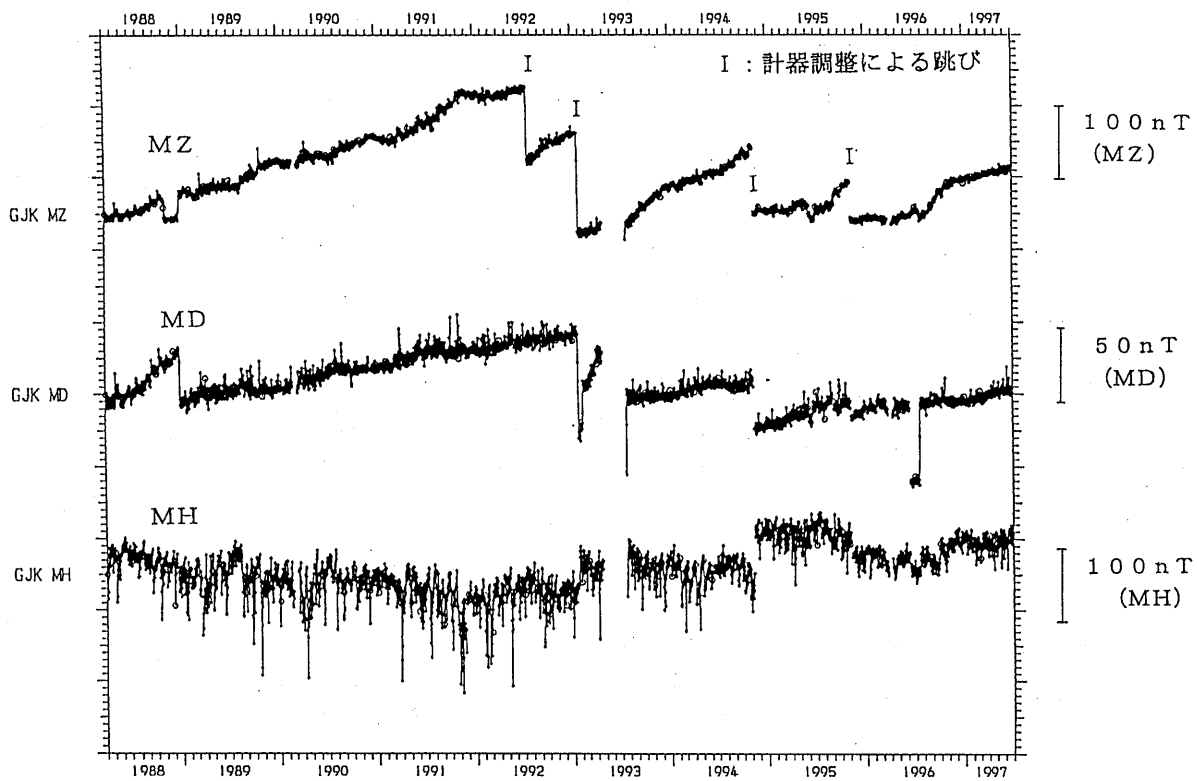


第1図 地磁気観測点の場所 (GJK, OOH, ODK)

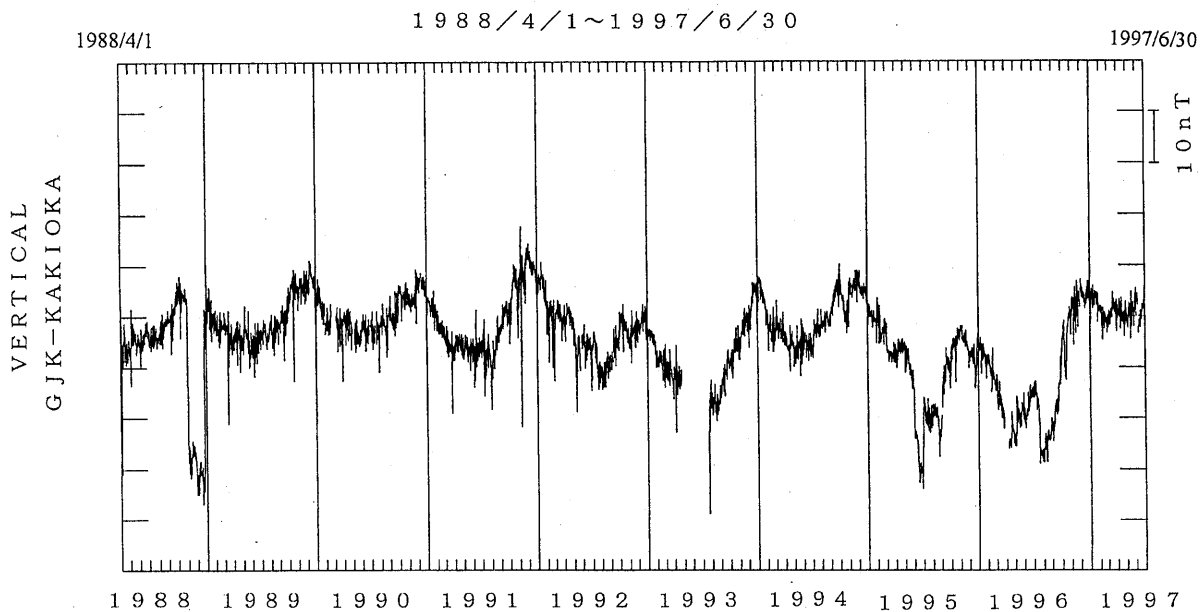
Fig. 1 Locations of geomagnetic obserbational sites at Izu-Ooshima(GJK, OOH and ODK).

\* Received 25 Dec., 1997

\*\* 鷗川元雄  
Motoo Ukawa



第2図 GJK観測点における3成分地磁気記録(日平均値, 1988年4月~1997年6月)  
 Fig. 2 Three component geomagnetic data at GJK(daily mean, April, 1988~June, 1997).



第3図 GJK観測点における地磁気鉛直成分。オフセット調整の影響を補正し気象庁地磁気観測所による柿岡での観測値との差を表示。  
 Fig. 3 Variation of the difference of vertical component geomagnetic data between GJK and Kakioka (JMA). Offset-steps due to instrumental adjustment are corrected.